

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

永平寺町子ども会育成連絡協議会長（1名）
※地域コーディネーター委員長
地区公民館館長（1名）
※地域コーディネーター
育友会(PTA)代表（1名）
幼稚園園長（1名）
地区子育て支援員代表（1名）
教職員（校長，教頭，教務）（3名）

(2) 協議会の内容

7月：本会の趣旨，活動方針の説明，協議
本校の教育方針，教育計画の説明
12月：教育活動及び地域と進める体験推進事
の経過報告，学校評価の計画について
2月：学校評価書の考察
今後の活動とその関わり方の検討
次年度の組織，活動の見直し

(3) 協議会における成果と課題

重点事項1「学校・地域・家庭の連携，および，学校評価による改善」については，協議会で学校評価をもとに話し合われた内容を教育活動に生かすことができた。学校からの発信は，家庭や地域へ大きな影響力があるとのことをご意見をいただき，今後の課題とした。重点事項2「幼稚園および中学校との連携推進」については，特に幼稚園との連携を図ることができた。来年度は，引渡訓練を合同で行い，防災面からも連携がとれるように計画していくことになった。その他，地区の危険箇所について，地区の方からも町へ要望してもらえらることになったのも成果の1つである。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

- ・豊かな自然環境の中での農業体験活動を通して，自然を愛し，働くことの喜びや尊さを体得させる。
- ・様々な体験活動を通して，仲間と協力したり，仲良く助け合ったりする心や思いやりの心を育てる。
- ・野菜の栽培活動をする中で，見つけたり，考えたり，調べたりすることを通して，ものの見方や考え方を広げるとともに，食に対する感謝の念や命を大切にする心を深め，食を大切にする心を育てる。
- ・地域の方々と農業体験活動などさまざまな活動を通して「地域との交流」を図り，ふるさと御陵を思う気持ちを高める。

(2) 活動の実際

①野菜・米作り体験（全学年）

学年で栽培したい作物を決め，栽培の仕方について地域の方から教えていただきながら，苗植え・除草・収穫などの栽培活動に取り組んだ。1・2年生は幼稚園の年長児と一緒にサツマイモ，3・4年生は地区の特産である五領たまねぎ，5・6年生は米作りを行った。米作りでは，少しでも昔の農業にふれたいという6年生の意見で，今年度は，刈り取った稲を束にして稲架げも行なった。束にするのが難しく，手作業の大変さを感じていた。



(様式3)

収穫後は、児童がメニューを考え、調理をして味わうことができた。収穫物を味わうことで、野菜を育てる喜びを強く感じることができた。米は、御陵公民館祭りで「御陵っ子米」として販売した。販売までの準備として、米の中に虫や種などが混ざっていないか確かめ、袋詰めをした。また、「御陵っ子米」のキャラクターを考え、米袋にキャラクターのシールを貼り、お客さんに喜んでもらえるように工夫した。当日は6年生中心に地域の方に販売し、大盛況だった。



②学校林植樹体験（6年）

「なぜ学校林があるのだろうか。学校林ってどんなところ何だろう。昨年の6年生が植えた桜の木はどうなっているのだろうか。自分たちも学校林を守り育てたい。」などの声から、今年度も七福産業振興会の協力を得て、学校林の頂上付近にカワヅザクラ5本を植樹した。学校から離れているところにある学校林の歴史も知ることができ、有意義な体験活動になった。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

昨年度に引き続き、永平寺町子ども会育成連絡協議会会長であり御陵土地改良区理事の田中氏と御陵地区公民館長であり七福産業振興会事務局長の森塚氏に就任していただいた。地域コーディネーターとしての活動は、以下の通りである。

- ・田畑や農業関係の方との調整役。田んぼの管理。
- ・米作りや野菜栽培を行う上での、学校や児童へのアドバイス。
- ・七福産業振興会や公民館祭り実行委員会との橋渡し。

(4) 特に工夫した事項

- ・3年間を見通し「地域を知る」「地域と共に活動する」「地域に発信する」という流れで取り組んでいる。2年目の今年度は「地域と共に活動する」ということで、農林業体験を通して、地域の方に教えていただいたり、交流したりして、地域への関心を高めた。
- ・毎回ボランティアを募り、地域の方とふれ合う機会を多く設定した。

(5) 成果と課題

2年目の今年度は「地域と共に活動する」ということで、昨年度の反省を踏まえ、さらに地域との連携を深められるように活動内容の検討を行った。収穫物の調理や販売などは、児童主体の活動ができたことが、成果である。公民館祭りでの「御陵っ子米」の販売は、昨年度、完売まで時間がかかったので、売り方を工夫した。にぎやかに呼び込みも行え、地域を盛り上げることに一役買え大変好評であった。また、今年度も活動毎にボランティアを募り、やり方などを教えていただきながら地域の方々と楽しく交流することかできた。

活動の様子は、公民館祭りの展示コーナーに掲示して伝えた。たくさんの方に見ていただき、周知することができた。来年度は最終年度になるので、「地域に発信する」というテーマのもと、掲示物以外の取り組みも行いたい。発信の方法を児童主体で考え、取りまわせることが、本事業のねらいの達成につながる。年度初めに計画を立て、10月の公民館祭りにその成果を伝えられるようにしたい。